

第9回 西日本インカレ（合同研究会）専用企画シート

必ず<企画シート作成上の注意>をご確認いただき、ご記入をお願いいたします。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
フリガナ) オオサショウキョウダイガク	フリガナ) オービーピーコース	フリガナ) ハヤシ コウジゼミ
大阪商業大学	OBP コース	林 幸治 ゼミ

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数（代表者含む）
フリガナ) エヌジェーティーキカク	フリガナ) クロダナオキ	3
NJT 企画	黒田尚希	

研究テーマ（発表タイトル）

なぜインターンシップで満足しない学生がいるのか。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

3 回生となり就職活動を見据え、周りでは、インターンシップへ参加する学生が多くいる。そんな中で、私たちは学生間でインターンシップについての意見交換を行った。そうすると、インターンシップに対する満足感が個々で異なっていることに疑問を抱いた。そこで私たちは最初、なぜ学生が満足しないのかを、学生・企業・学校・国の 4 つの立場から問題を洗い出した。やはり、企業や国、学校を大きく変化させるのは難しいということや、実際インターンシップの満足感というのは学生の評価基準で変化するのではないかと考えた。よって学生側の目線から私たちは、インターンシップを満足するためにはどうすべきなのか研究し進めていく。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

【インターンシップの実施状況】『企業』

新卒採用を実施している企業のうち、2017 年度にインターンシップを実施した企業は 68.1%と、2016 年の 59.4%より 8.7% 増加。また、2018 年度に実施予定の企業は 73.7%と 2017 年と比べると 5.6%増加する予定。

【インターンシップへの参加状況】『学生』

2018 年卒学生のうち、インターンシップ参加者は 55.2%と 2017 年年よりも 11.5%増加。

又、厚生労働省の新規学校卒業就職者、大学卒の H27 年の統計によると、3 年目までの離職率は、約 3 割という結果が出ている。これは過去 5 年を見ても一定に推移しており、減少傾向とは言い難い。さらには、2021 年度から就活ルールが廃止されることも決まり、今後いっそうインターンシップの重要性が高まって行くにつれ、さらに学生にとってインターンシップは、大切な経験・時間となることは間違いない。そこで、インターンシップを満足のいくものにしていくことが今後企業、学生間でのミスマッチを減らしていく鍵にはなるのではないかと。

3. 研究テーマの課題

学生に対して、インターンシップの経験についての聞き取り調査を行う。同じインターンシップ先企業かつ同じ内容を体験した学生の満足度の違いの原因や、インターンシップに対して満足、不満だと思う人は何通りに分けられるのか。そしてそこから見えてくる原

因を探る。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

- ・学生が広い視野で業界や企業を捉える。
- ・企業側が学生の求めるようなインターンシップ内容の実施。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

なぜ学生がインターンシップで満足できないということを、4つの方向から問題点を洗い出した。しかし私たちは学生側からの目線で解決策を提案するため、学生に対してインターンシップの経験について聞き取り調査を行った。そうすると、満足したという人には①行きたい業界・企業のインターンシップに参加し満足だった。②行きたくない業界・企業だったが満足だった。の二通り。不満だという人にも③行きたい業界・企業だったが不満だった。④行きたくない業界・企業で不満だった。の二通り合計4通りに分けられた。そこで私たちは②と③の二つをさらに追及し、聞き取り調査を行った。そうすると二つのことが浮かび上がってきた。

6. 結果や今後の取り組み

- ・興味のない業界・企業は学生たちの知識不足だということはわかったが、それが直結してインターンシップの満足・不満足に影響を与えるとは言いづらい。
- ・企業は、学生が求めているようなインターンシップ内容を加えることで、学生に満足したインターンシップを提供することができる。
- ・今後学生は、合同説明会へ参加や、業界研究をより広く行うことで、興味のない業界を減らし、よりよい就職活動に繋げていくべきである。

7. 参考文献

https://job.career-tasu.jp/2019/guide/intern/for_underclassman/001/（参照 2018年 8月 10日）

https://www.recruitcareer.co.jp/news/20180215_02.pdf（参照 2018年 10月 1日）

<https://service.gakujo.ne.jp/data/201407>（参照 2018年 10月 1日）

https://www.jil.go.jp/foreign/labor_system/2006_12/england.html（参照 2018年 10月 1日）

<http://www.works-i.com/column/internship/>（参照 2018年 10月 1日）

https://www.kyoto-su.ac.jp/news/20170224_855_hwayoung.html（参照 2018年 11月 5日）

<https://shukatsu-mirai.com/archives/68375>（参照 2018年 11月 5日）

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000137940.html>（参照 2018年 11月 6日）

- パワーポイント内に動画を使用されている場合、動画を使用しているスライドのページをご記入ください。

無し。

- 発表時に使用する成果物（例. 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査に使用したアンケート）

無し。

【企画シート作成上の注意】 ※「第9回 西日本インカレ（合同研究会）大会参加要項」も合わせてご確認のうえ、企画シートの作成を行ってください。

- ・本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。
- ・本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、翌年3月に公開予定の「大会結果 Web ページ」に掲載されます。
- ・本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ・本企画シートは、作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。
- ・大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。
- ・企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。
- ・商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。
- ・書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同

様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

・発表時に使用する成果物がありましたらご記入ください。記入がない成果物は大会当日使用することができません。また記入いただいた内容について、事務局から代表者の方に確認をさせていただく場合がございます。

・電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。